

発行:山本みわ後援会 つくば市松代2-21-10 TEL:029-854-7676

老後の生活を住み慣れた地域で！ 支援センターを増設します！



つくば市議会議員の山本みわです。

日頃より温かいご支援、ご声援に心より感謝申し上げます。

誰もが住み慣れた地域で安心して老後を過ごすために

つくば市の65歳以上の高齢者は、この5年間で7,246人増加し、約4万人。高齢化率は15.8%から18.7%へと上昇。市全体の高齢化率は茨城県全体よりは低いものの、筑波地区・荳崎地区においては、31%となっています。



高齢者だけの世帯は 6,455 世帯
一人暮らし高齢者は 6,864 世帯
(平成 27 年 4 月 1 日時点 市統計による)

誰もが、住み慣れた地域で安心して老後を暮らせるために、医療・介護・住まい・生活支援サービス等の支援を地域の中で一体的に受けられる体制づくり、連携が必要となっています。

高齢者がかかえる問題は、複雑で多分野にわたります。相談から支援までワンストップで行えるよう、それぞれの地域に地域包括支援センターの設置を提案し続けました。

公明党の推進により、現在はつくば市役所にしかない地域包括支援センターですが、来年度まずは筑波地区と荳崎地区に設置されることになりました。

(平成 28 年 9 月議会山本みわ一般質問に対して市が答弁)

これからも、各地域での支援体制づくりを推進してまいります。





「骨粗しょう症検診」改善提案で 受診率3.5倍増加！

骨粗しょう症が原因で生じる骨折は、主にせき髄、大たい骨警部、とう骨です。特に、寝たきりや要介護の原因となる大たい骨骨折は増加し続けています。

骨粗しょう症の早期発見と早期治療、さらには骨折予防による要介護状態の予防には骨粗しょう症検診が重要なのです。検診率の高い都道府県では要介護率が低くなる傾向があります。

ところが、検診受診率は低いのです。国においては5%前後、**つくば市においては2.2%**でした。

平成26年3月議会で問題提起し、検診日が4日間から6日間になり、節目年齢の検診対象者への個別通知をおこなっていたところ、**受診率7.7%と3.5倍も増加**しました。

今後、検診機会の増加と土日検診についても改善してまいりたいと考えています。

山本みわはこれからも、女性の健康対策を進めてまいります。

骨粗しょう症検診

【申し込み制】

5月に対象者へ通知

6月申し込み

8月検診

【対象者】

30歳以上70歳までの
節目年齢5歳刻みの女性

【自己負担金】

1,000円

(70歳の方は無料)

※詳しくはライフプラン

「すこやか」をご覧ください

つくバス・つくタク改善要望

平成28年10月1日から、つくバスでは、待望の **PASMO** や **Suica** が使えるようになりました。

また、「**つくバス バスロケーションシステム**」を導入！

スマホやパソコンから、バスの現在の運行位置やバス停への到着予定時刻などの運行情報を検索し、確認することができます。

さらに10月1日(土曜日)から、筑西市及び桜川市方面への広域連携バスの実証実験運行が開始します。※筑西市・桜川市の事業

つくタク予約センターの業務改善など少しずつ進化してはいます。

しかし、市のアンケート調査によると、つくタク利用に関する不満は、**運行時間(9時~17時)に関して32.5%**

運行日(平日のみ)に関して20.2% となっています。

つくバスの路線の見直し、終バスの時間延長、つくタクの運行見直し・増便については早急に検討するべき課題として要望しております。

公明党つくば市議団では、つくバス全線試乗、つくタク乗り継ぎなど実車調査し、皆さまからのご意見を元に定期的に市担当者との意見交換の場を設けています。皆さまのご意見お待ちしております



平成28年9月議会

山本みわ 議会質問より



どうなる？西武筑波店撤退

8月に突如、報道された西武筑波店の撤退。つくば市の玄関口として、賑わいを創出すべき駅前の百貨店の来年2月閉店は、まちづくりに大きな影響を与えます。

閉店発表の経緯と今後の対策について問いました。

〈市答弁〉

1985年オープンから30年。今年4月には業績不振が伝わっており、市は営業継続の要望を行っていた。クレオを管理する筑波都市整備、つくばセンター地区活性化協議会の3者で、この問題対応の組織を設置し、すでに数回会議を開催。

「地域の核となり、集客力のある施設の誘致に全力を挙げるとともに、雇用対策やにぎわい創出のための取り組みを進める」と回答した。

公務員宿舍廃止・売却 治安対策急務！

売却まで空き家の状態が長く続くことになり、懸念されていた周辺地域の治安悪化につながっています。ただでさえ「暗さ」が問題となっていたところに、宿舍廃止により、街灯が消され、樹木は伸び、道路にまで飛び出すありさま。特に吾妻は、平成30年31年に売却予定で、建て替えまで3年以上かかります。その間の市民の安全責任を市に問いました。

〈市答弁〉

現在までに処分対象 36.5haのうち7.9ha（7街区）で民間業者への売却入札が行われている。

治安悪化を防ぐための対策は、関東財務局が巡回警備や除草、売却まで周辺での街頭点灯を求めている。

放課後児童クラブ（学童保育） の待機児童対策

保育所の待機児童に続き、児童クラブが足りない問題と、保護者で運営しているクラブの保護者負担について問題提起しました。

〈市答弁〉

現在、民間も含め61か所で2843人の受け入れをしている。

福祉部、教育局連携して、全ての児童の総合的な放課後対策に取り組んで行く

公設民営型（保護者運営）のクラブのあり方を今後、早急に検討していく

その他

●研究学園地区まちづくりビジョンに示される方針の進捗状況と今後の取り組みについて

●防災対策について

質問しました。

一般質問の詳しい内容や、過去の質問内容についてはホームページをご覧ください。

山本みわホームページ

<http://www.miwatsukuba.com>



日々の活動を配信中～



山本みわホームページ



公式Facebookページ



公式LINEページ

山本みわの実績

子育て

- ◆臨時職員保育士の賃金水準の見直し実現！
- ◆特別支援員の増員
- ◆ペアレントトレーニングの導入
- ◆子育て総合支援センターに発達相談窓口の設置
- ◆放課後子ども教室の推進・実施
- ◆保育所・児童館の耐震診断と耐震改修を提案・実施
- ◆子育てすくすくメール配信事業実施
- ◆小中学校各教室への冷房整備 1番最初に要望・交渉！

地域

- ◆市報のポスティングによる全戸配付
- ◆犬のふんイエローカード
- ◆交流センター図書室の中央図書館分館化
- ◆中心市街地の防犯灯等の計画的な整備管理について、調査マップを作成
- ◆メモリアルホールにコインロッカー設置
- ◆公務員宿舍の廃止に関して国との協議会を設置
- ◆研究学園地域に郵便局誘致実現！

防災

- ◆地域との連携による学校の防災力強化推進 事業の実施
- ◆災害時の情報伝達手段の整備（ラチオ協定）
- ◆防災無線の一部導入 震災時より一貫して主張してきました！
- ◆防災計画に女性の目線を導入

市政

- ◆財政の見える化→つくばの台所事情発行
- ◆公共施設マネジメント導入推進

健康・高齢者

- ◆女性特有のがん検診・がん対策の推進
- ◆高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を実現
- ◆妊婦健診公費助成拡充
- ◆子どもの医療費助成、中学3年まで拡充
- ◆救急医療情報キット導入
- ◆こころの体温計（うつ早期発見）導入推進



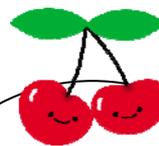
山本みわプロフィール

1969年12月 東京都練馬区生まれ
 都立大泉高等学校、創価大学教育学部児童教育学科卒業
 1992年 4月 学校法人創価大学事務局にて庶務課・広報課・企画課に従事
 1999年 4月 結婚を機につくば市に居住
 2008年10月 つくば市議選で初当選
 2012年10月 再選を果たし、現在2期目。

- ・文教福祉常任委員会 委員長（2013、2014年）
- ・総合運動公園に関する調査特別委員会副委員長
- ・安心安全調査特別委員会 ・議会活性化推進特別委員会
- ・国民健康保険運営協議会副会長 ・男女共同参画審議会委員
- ・子ども子育て会議委員 ・バースセンター評価委員、
- ・予防接種健康被害調査委員会委員

公明党つくば支部副支部長
 松代小学校父母と教師の会元会長、手代木中学校 PTA 元会長
 防災士、つくば環境マイスター3級、
 「いばらき防災士ネットワーク」「認知症の人と家族の会」
 「若年者社会参加支援普及協会アストリンク」（ひきこもり支援）

【生活信条】 「笑顔と感謝」 【趣味】 森林浴・文具本屋めぐり
 【家族】 夫・一男（中3）・一女（小6）・実母の5人家族



さくらんぼ通信の

“さくらんぼ”は
 『あなたとわたし』
 そして
 『2人の子ども』
 と常に一緒に
 そう思う思いを込めています